

全国都市緑化かわさきフェア 春開催

毎年、全国各地で行われている「全国都市緑化フェア」。
41回目となる今回は、市制100周年を迎えた川崎市が会場。
(映像：秋開催時のオープニングイベントの様子)

2024年10月～11月の秋フェアに続いて、2025年3月から4月には春フェアが開催されました。
富士見公園のメインガーデンには、6万株に及ぶ花壇が登場。
黄色を基調とした春の花が咲き誇りました。
(映像：富士見公園会場の様子)

秋の開催に引き続き、等々力緑地には五感を使って楽しめる全長75メートルの「アクティブガーデン」が登場。
(映像：等々力緑地会場の様子)

また、生田緑地には林の中に藍染と霧で美しく幻想的な空間を生み出すなど、3つの公園をコア会場に新しいみどりの価値を発信しました。
(映像：生田緑地会場の様子)

総合閉会式では、川崎市の福田紀彦市長が100年先の未来への誓いとして、「みどりのKAWASAKI宣言」を行い、人と自然が共生する幸せな社会の実現を誓いました。
(映像：総合閉会式での福田市長スピーチの様子)

そして、次回の緑化フェア開催地である岐阜県にフェアの旗が引き継がれ、全国初となる秋と春の二期に渡って開催された
全国都市緑化かわさきフェアは幕を閉じました。
(映像：総合閉会式の様子)